

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12030010

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A	
単位施策	4 図書サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	読書促進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	5 保健福祉課 8 保育所	
事業指標	町民1人あたり貸出冊数	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	町民1人あたり貸出冊数10冊	関係例規・法令名		
住民参加 住民協働	有 読み聞かせ等によるボランティアの活用	関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	●図書サービスの充実 図書(絵本含)購入 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 3,400冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 2,500冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 2,500冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 2,500冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 2,500冊 ブックスタート・配本 移動図書館	
	事業費(千円)	21,312	5,150	4,050	4,050	4,012	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	21,312	5,150	4,050	4,050	4,012		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	21,215	5,147	3,970	4,048	4,007	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	21,215	5,147	3,970	4,048	4,007		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 図書購入(2,934冊)、絵本購入(469冊) 寄贈図書(79冊) ブックスタート 5回実施、24人に配付 配本～雄武小 年間2,880冊 豊丘小 年間1,450冊 移動図書館 265人利用、378冊貸出 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 図書購入(2,301冊)、絵本購入(457冊) 寄贈図書(150冊) ブックスタート 5回実施、31人に配付 配本～雄武小 年間2,880冊 豊丘小 年間1,650冊 移動図書館 253人利用、461冊貸出 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 図書購入(2,338冊)、絵本購入(427冊) 寄贈図書(763冊) ブックスタート 5回実施、32人に配布 配本～雄武小 年間3,120冊 豊丘小 年間1,500冊、沢木小 年間407冊 移動図書館 209人利用、408冊貸出 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 図書購入2,328冊、絵本購入340冊 寄贈図書309冊 ブックスタート4回実施、21人に配布 配本(年間実績)～雄武小 2,860冊、 豊丘小 1,500冊 移動図書館 129人利用、388冊貸出 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 図書購入2,323冊、絵本購入341冊 寄贈図書360冊 ブックスタート5回実施、27人に配布 配本(年間実績)～雄武小 2,780冊、 豊丘小 1,500冊 移動図書館 137人利用、493冊貸出 ※事務事業評価結果 B-継続/拡充	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊
		年度達成率	100%	98%	100%	100%	100%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	24%	43%	62%	81%	100%
	備考欄						

事業名	読書促進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課長補佐	石山 英伸

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	利用者(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書購入冊数2,500冊、町民1人当たり貸出冊数10冊
【抱える課題やニーズは】	図書の計画的購入、企画展示の開催などにより図書館サービスの向上に努めているが、施設上の制約により図書館の魅力を十分に引き出すことができていない、という課題を抱えている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者のニーズに応じた図書の購入及び蔵書構成により、読書活動の推進や図書館サービスの向上を図る。	① 図書購入冊数	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	性別や年齢、職業等を問わず幅広い町民を対象とした、地域における暮らしに役立つ情報拠点となり、生涯学習の推進や地域の活性化を図る。		② 1人当たり貸出冊数
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	① 図書購入冊数(絵本含む)	図書購入冊数~2,664冊(目標値対比164冊の増、前年度対比4冊の減)	
	② 年間貸出冊数	年間貸出冊数~33,207冊(前年度対比321冊の増) 年間貸出人数~7,188人(前年度対比196人の増)	
	③ 移動図書館・配本・ブックスタート	ブックスタート~「はじめてのお誕生会」の場で5回実施し、27人に配付。 配本(年間実績)~雄武小学校2,780冊、豊丘小学校1,500冊、計4,280冊を配本。移動図書館~沢木地区 137人・493冊を貸出。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域の情報拠点として位置付けられる図書館において、蔵書を充実し図書館利用を促進することは、町民の生涯学習の推進のため必要であり、ひいてはまちづくりを担う人材の育成につながり、地域の活性化に寄与するものである。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	1人当たり貸出冊数は目標達成に至ってはいないが、年間貸出冊数は増加傾向にあり、町民ニーズに応じた図書の整備や蔵書構成、企画展示実施の効果が現れつつある。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成
	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	図書購入に係る経費は、図書館に対する町民ニーズに応えるための必要なコストであり、図書購入の際には町民ニーズを踏まえた選書や購入冊数等の精査を行っており、効率的に執行している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	図書館は町民の誰もが利用できる空間であるとともに、町民のニーズに応じた図書の整備を図っていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	<b>B</b>	
	1人あたり貸出冊数は目標達成に至ってはいないが、年間貸出冊数は増加傾向にあり、前年度対比2.3%増となるなど、事業の効果が現れつつある。	

今後の展開方向  
(Action)

	<b>継続/拡充</b>	
	蔵書の計画的購入と整理、企画展示の充実等を進め、図書館サービスの更なる向上に努めるとともに、平成30年度は新図書館オープンの前年となることから、プレイベントを実施する。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止